



# あゆみ

八潮市立八潮中学校  
八潮市中央1-1-2  
Tel:048-996-4219  
生徒数 538人

## 令和8年度のスタートに当たって

校長 市川 真志

皆さんのすたーとを祝福するような、見事な晴天となった4月8日、令和8年度がスタートしました。久しぶりに生徒の皆さんが登校し、いつもの活気を取り戻したようで、ワクワクしました。今年度も、多くの学習や行事等を通し、皆さんの大きく成長してくれるものと期待しています。

今年度の入学式・始業式では、イソップ童話「ウサギとカメ」を引用して、「目標」の大切さについて話しました。「目標」はどんな取組にも必要であり、「目標」があるからこそ頑張れます。しかし、「目標」の立て方を間違えると、他人を攻撃してしまったり、他人の失敗を喜んだりするようになってしまいます。お互いを認めあい、支えあい、高め合うために、「目標」の意味を確認しておきました。式辞を抜粋して掲載しますので、心にとめておいてください。



### 入学式・始業式 式辞（抜粋）

皆さんは「ウサギとカメ」の話を知っていますか？とても足が速いウサギが、動きの遅いカメと同じゴールを目指して競争するお話です。ウサギとカメの競争ですから、誰が見てもウサギが勝つのが当たり前だと思ってしまうでしょう。しかし、ウサギはのろのろ歩くカメを見て油断し、途中で昼寝をしてしまいます。その結果、カメに負けてしまうという話です。この話ですが、皆さんはウサギとカメの勝敗を分けた違いは何だったと思いますか？私は、「どこを見ていたか」だと思います。ウサギは「カメ」を見てレースをしていました。だからカメの遅さに油断してしまったのです。それに対して、カメは「ゴール」だけを見てレースをしていました。自分の決めたゴールに向かって、ただひたすらに歩みを進めた結果、ウサギに勝てたのだと私は考えます。このお話は、「目標」の大切さを教えているように思うのです。

何かをやろうとするとき、必ず目標を立てます。その目標を間違えないでほしいのです。ウサギのように「誰かに勝とう」「誰かより上になろう」というような目標では、そこに油断が生まれ、自分の本当の力が出せないことがあります。周りの人がどうであれ、「とにかく、一生懸命やろう」「自分の力を全部出し切ろう」と決めたとき、自分の力が最大限に発揮できるのではないのでしょうか。周りの人がどうであろうと、今自分にできることに一生懸命に取り組む。そういう人たちの集まりが、この八潮中学校をよりよくしていきます。まずはこの一年間、あらゆることに一生懸命取り組む一年にしていきましょう。皆さんの活躍を期待しています。



